

技術提案書2 (課題についての提案) 課題1 新文化複合施設(図書館・市民ギャラリー) 整備事業基本構想(案)に基づき、及び駐車場を配置する観点から、この施設における機能的かつ快適な空間の実現と稼働率を高める具体的な方策について、提案者が独自に提案したい事項

稼働率を最大にする =「図書館×市民ギャラリー=新しい公共空間」

稼働率を高める上で最も大切なことは、まず市民ギャラリーと図書館がそれぞれの魅力を最大限に発揮できるよう配慮することである。その為に私たちは、「1Fギャラリー=作品を介した交流の場」「2F図書館=静寂さの中で本と向き合う空間」という、それぞれの空間特性とまちとの関係を最適化する組み合わせを採用した。

次に、いままで図書館やギャラリーに関心の薄かった市民にとっても、興味が沸くような仕組みが備わっていることである。その為には、新文化複合施設が「図書館+ギャラリー」ではなく、「図書館×ギャラリー=新しい公共空間」となるように、個々の機能の枠を超えた多様性を備えることが大切であると考えた。

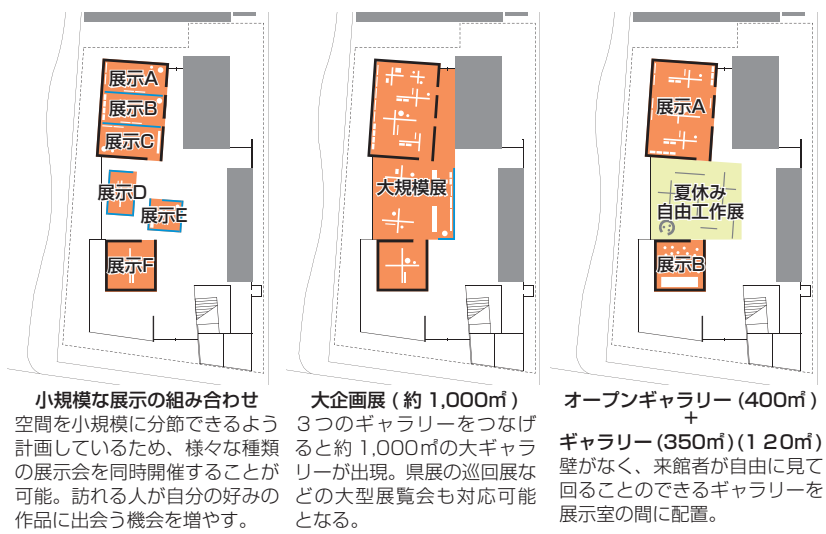
本提案において私たちは、ギャラリーを単なる700㎡の箱とせず、特色の異なる3つのギャラリーの組み合わせとして提案する。ギャラリーを分散配置することで、1階に開かれた雰囲気を生み出し、いままで図書館やギャラリーに縁遠かった市民も入りやすいよう計画した。なにげなくやってきて、街角に面したブックカフェでお茶を飲みながら雑誌を読む。そのような気楽な楽しみ方から、奥深い本の世界、アートの世界に入り込む。たまたま顔を合わせた知り合いと井戸端会議に華を咲かせる。様々な出来事を受け入れる開放的な空間は、これからの100年を見据えた市民交流への提案である。

ポイント1 異なる特色を持つ3つのギャラリー

メインギャラリー：正当派ギャラリー
従来型の展示に適した大ギャラリー(面積400㎡/天井高4.0m)。可動間仕切りにより3分割での利用が可能。個展、企画展の他、大規模巡回展等のメインギャラリーとしての利用を想定。

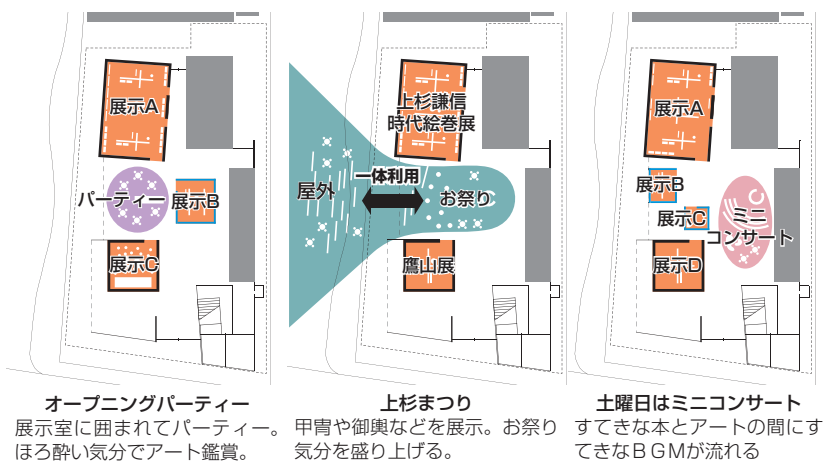
オープンギャラリー：まちとつながる
まちに開いた開放的なギャラリー(面積250㎡/天井高4.0m)。パーティションを活用し様々な展示を気軽に楽しむ空間。メインギャラリー・多目的ギャラリーと一体的に利用することで約1,000㎡の大ギャラリーとなる。また、ガラス戸を開放することでまちの広場と一体的に利用できる。

小ギャラリー：天井が高い
2階からも見える天井の高いギャラリー(面積120㎡/天井高5.5m)。大型オブジェや映像・音楽を用いた作品など、高い天井を利用して様々な展示に対応する。



ポイント2 新たな交流を生む「まちのサロン」

オープンギャラリーは、ギャラリーという機能を超え、図書館やギャラリーを目的に訪れる利用者以外の人々も立ち寄り、様々な市民が集う「まちのサロン」として提案する。普段の活動とは異なるグループの人々が出会うことで、新たな交流が生まれ、様々なアイデアが生まれ、まちへと広がっていく。西側のまちの広場に面したガラススクリーンは全面開放できる計画とし、エントランスロビーやまちの広場との一体的に利用できる空間とすることで、屋外・屋内を問わず様々なイベントに対応できる空間とした。



ポイント3 米沢カフェ

米沢カフェは、一般誌やアート系の雑誌・新聞・ミニコミ誌などBDS管理を不要とした図書館資料を配架し、ふらっと立ち寄りお茶を飲みながら本やアートに親しむ空間として提案する。また無線LANを整備し、パソコンを持ち込みインターネットを楽しんだり、不要となった本を持ち寄り「みんなの本棚」を設置して、気軽にまちなかで本を楽しむ環境を創出することを提案する。顔となる交差点(平和通り/門東町下通り)に面して配置し、春秋はオープンカフェとする計画とし、まちにぎわいを生み出すとともに、道行く人々を呼び込み稼働率の向上に貢献する。(ボランティアによる無料チケットの発行などを考慮する)

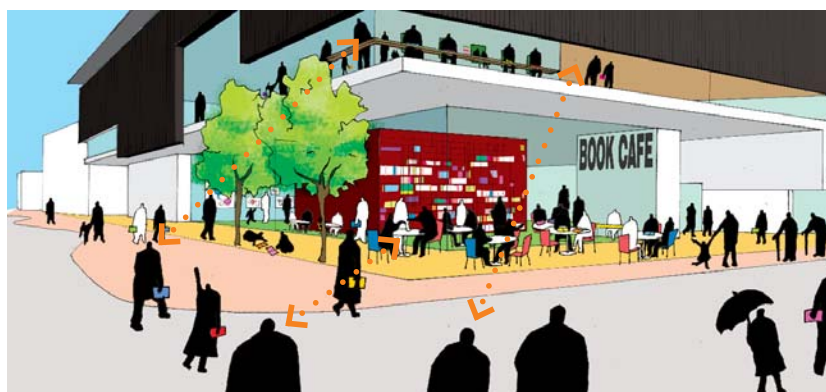


図2.1: 平和通りから計画建物を見る

ポイント4 既存公園の保存

まちに積み重ねられた記憶の一部として、駐車場西側の既存公園を保存活用。

ポイント5 まちと施設をつなぐ縁側=こまや空間

こまや空間は、まちと施設をつなぐ縁側である。深い軒下は、雪や雨からガラス面を守り、開放性の高い空間を実現する。半屋外の公共空間は、屋内と屋外を柔らかくつなぐ。



ポイント6 効率の良い駐車場

駐車場は車庫部分にも緩やかな水勾配(約4%)を持たせることにより面積効率を向上し、コストパフォーマンスの高い計画とする。路面には凍結防止用のヒーターを設置し安全性を確保。駐車場から建物へのアクセスは雨の掛からない北東側に設け、冬の北西風から守られた構成とする。

ポイント7 使い易さの工夫

【BM車庫・搬入】
BM車庫・搬入車庫は、ゆとりを確保した作業スペースを計画し、降雨・降雪時の作業が容易な計画とする。

【ブックポスト】
外部から直接書籍の返却を受け付けるブックポストは、駐車場、駐輪場からアプローチしやすい位置に設け、利用者の利便性に配慮した計画とする。

【雨に濡れない車椅子駐輪場】
車いす駐輪場はサブエントランスに隣接した軒下空間に配置し、北西風を避けながら降雨・降雪時にもぬれずにアクセスできる環境を整備。

【見通しの良い事務室】
事務室は1階の見通しの良い位置に配置し、館全体の安全管理に配慮した計画とする。

【駐輪場】
駐輪場は、冬季の北西風および雨・雪を避けるため、東側の軒下を利用し計画する。

ポイント8 鷹山ホール

平和通りに面した多目的スペース。米沢市の生涯学習の中核である鷹山大学の講堂としての利用を想定しているほか、館内外の会議室として利用。